

南ハケ岳手造り山荘



星見台



屋根の上に見えるのは
星見台で
流星の観察
ができます



2003年5月 仮山荘の建築当初
男性が3人くらいで行えば2〜3日で完成
します。けっこう見栄えはよいと思います。

本山荘は2005年7月より作業開始
2015年2月完成(作業は隔週の土日)



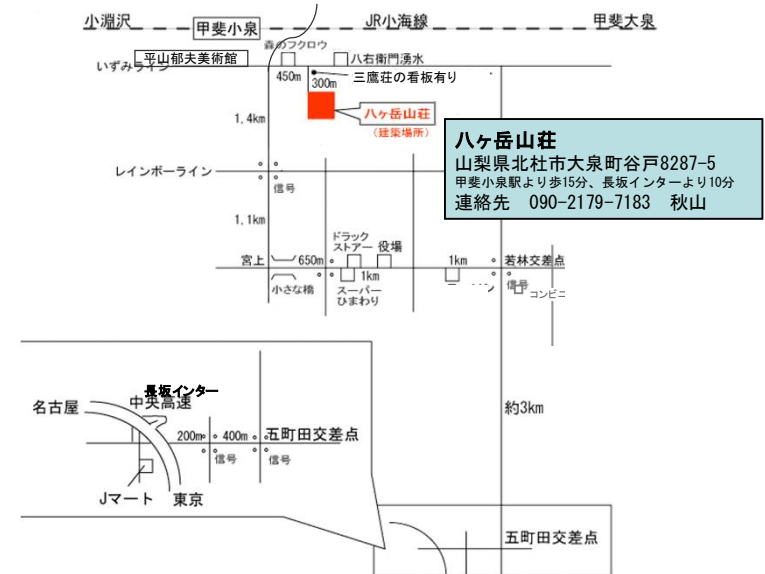
↓仮山荘

↓本山荘

大きな山荘で5月には
山荘の中にも花
の付いた枝が入
ってきます。

造ってから10年
経過しました。
まだ十分使えます。

2003年5月キットハウスの仮山荘(8帖)を造り
2年かけて本山荘を計画。仮山荘でもハケ岳ラ
イフを楽しみながら10年がけて本山荘を造りました



ハケ岳山荘

山梨県北杜市大泉町谷戸8287-5
甲斐小泉駅より歩15分、長坂インターより10分
連絡先 090-2179-7183 秋山



プロジェクターで映画鑑賞可
カラオケも可

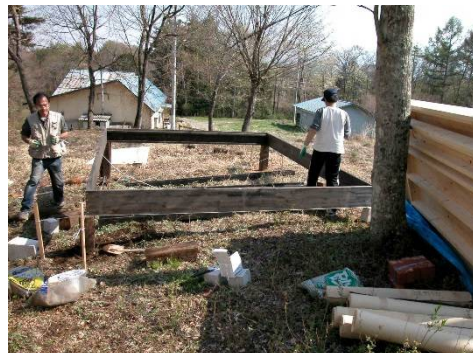
薪ストーブ

ブランコ

珪藻土の壁に
趣味の民芸品や骨董の面



2003年5月
まず仮設トイレ(右上のブルー)を作りました。
キットハウスの部材が届いたところです。



2003年5月 2日目
枕木を基礎にして土台を造ります。
水平にするのが以外に難しいのです。



2003年5月 3日目
床ができました。これが正確にできていれば
後は簡単です。



2003年5月 4日目
壁パネルをパタパタと立ち上げて床に電動ドリルで留めていくだけです。意外と早く出て、達成感の大きい一日です。



2003年5月 5日目
壁が完成したら、屋根パネルを上に掲げるのですが、これは重たくて大きいのでかなり大変。ロープを使ったりの工夫が必要です。



2003年5月 6日目
鼻隠しなど最終仕上げ。
一人でも作業ができるようにいろいろと工夫します。



2003年5月 7日目
ほぼ1週間で本体は完成します。
男性が3人くらいで行えば2〜3日で完成すると思います。けっこう見栄えはよいと思います。



2003年6月
梅雨に備えて屋根を仕上げます。
断熱材に50mmのスタイロフォームを取り付けアスファルトシングル仕上げの屋根です。



2003年8月
電気も取り付け内装工事。ここまでくれば、外のトイレを使用しながら、寝泊りができるので、土日での作業は順調にはかかります。



2003年9月
井戸を掘ってもらったので、給水工事です。部品が多いので、何を買ったらいのか、事前に何度も確かめます。配管作業は簡単です。



2003年9月
トイレも水洗ですから、浄化槽に配水管をつなげる工事をします。勾配をうまくとりながらの穴を掘っての配管工事は意外と大変です。



2003年10月
これで、下に2人、上に2人、計4人泊まれる仮小屋が完成。水洗トイレでオール電化で快適です。ここに寝泊りしながらいよいよ本体の工事です。



2005年7月
4月にコマツの教習所でユンボ(バックホー)の講習を終え、レンタルユンボで基礎の穴掘りです。これは面白い！是非体験の価値あります。



2005年8月～
鉄筋を組み、基礎造り。鉄筋曲げの工具をオークションで購入。砂利と砂を大量に購入。一日500kgのコンクリート練り。これは大変で筋力がつきました。



2006年10月
鉄筋を組み、コンクリートで底を固めた円形のボイド型枠の筒が1年近くの風雨で傷みだした。最後はコンクリートミキサー車とポンプ車でコンクリート打ち。



2008年10月
土台が完成するまでは一番大変。写真にわずかに写っている、給水管・排水管の埋設工事に10ヶ月。途中、別の遊びで手首骨折し半年休止。



2009年2月
床には100mmと厚いスタイロフォームで断熱し、28mmの構造用合板で床を作りました。見えない床下には、電気配線がいっぱいです。土台までの工事は地味ですが一番手がかかることを実感しました。



2009年3月
木造の骨組みは、大工さんに加工を頼んでいたのですが、建て方の前日に届きました。かなりの木材の量です！



2009年3月
夜明けと同時に建て方が始まりました。4人の大工さんが奮闘。星見台から建てていきます。夕方まで作業は続きました。



2009年3月
いつもは機械で加工したものを組み上げるので、すっぽりと組めるが、今回は手で加工したもので、久しぶりの叩き込みだと盛り上がっていました。



2009年4月
これまでネットオークションなどで集めておいた足場を架けます。2人で1日半くらいで完成です。この先2～3年しようするので中古の単管を購入したほうが一般的なリースよりお得です。



2009年5月
屋根は、仮山荘と同じくアスファルトシングル。西日で暑くならないように、厚50mmスタイロフォームと空気層を設け、強力な断熱屋根です。



2009年8月
壁は構造用合板の上に防水・透湿シートを貼り、仕上げ材の間に空気層を設け断熱します。



2009年10月
アルミサッシを取り付けます。取り付け枠にゆがみがあると、その調整が難しいです。サッシとガラスが入れば、雨風から室内を守るので内装作業に入れます。



2010年5月
1階の外壁は、ログハウス調なデザインになるよう半割丸太の材料で仕上げます。一本が長いので、一人で溝を重ね合わせる作業は一苦勞です。



2011年11月
ログ調の外壁は、15年間はメンテナンスフリーになるという特殊な液を塗り、その上に色の塗料を塗って仕上げました。



2012年6月
2階の外壁は、左官作業を行いたいという興味から、珪藻土にしました。珪藻土塗りは簡単でしたが、下地のモルタル塗りは難しいですね。



2012年7月
珪藻土は、白色に色付きの珪藻土を混ぜ、数色を実際に塗って検討し、最終的には現在の色で決めました。出来上がりもなかなか良い出来です。



2012年6月
階段はツーバイフォの幅広材を加工します。どの大きさにしようかと寸法を決めたり、切断線を描くのに時間がかかりますが、加工組み立ては簡単。



2013年5月
内壁全て100mmの厚みの断熱材を挿入しました。ガラスはもちろん全てペアガラスです。三角窓の細い頂点の枠の加工は難しいけどこだわりました。



2013年7月
2階は8帖の琉球畳ですから8人が泊られます。左の壁には棚を作り寝具置き場です。右の窓から星見台へ出ることができます。



2015年1月
あこがれていた薪ストーブです。中国製で安価ですが小さいのに100kgもあり設置するのに一人大奮闘です。これでも十分機能してよく燃えます。煙突工事は難しくはありませんでしたが、レンガ積みは思ったより大変でした。外壁もそうでしたがモルタルを使用する工事は難しいです。レンガとストーブで700kgはあるため、床下の梁を補強しています。薪は木材の残材が大量にあるので当分は不自由しません。



2013年8月
1階の寝室の壁は天井までの本棚。天井は有孔合板を張り、中に蛍光灯を設置して明かりが5mmの孔が見え、寝ながら星空？が見えるよう遊んでみました。



2013年12月
トイレは手動式ウォシュレット



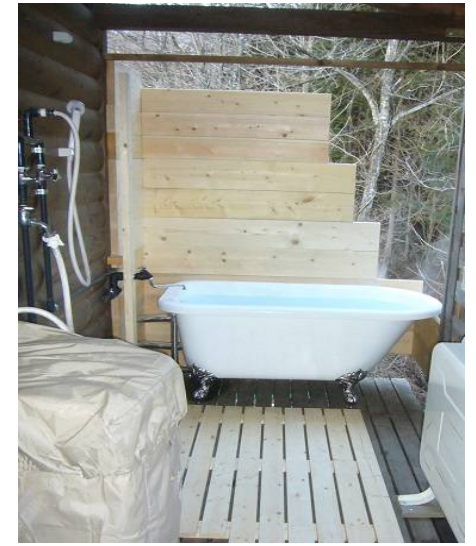
2014年3月
キッチンに電気温水器でお湯を出し、レンジは200ボルトのIHクッキングヒーター。電気配線が多く、2012年には第二種電気工事士の免許を取得し、東電に申請しました。工事店名はセルフビルドです。



北側外観



西側外観



露天風呂(星を見ながら入浴です)



太陽光発電所12KW2012年 DIY太陽光発電キットで製作



南側を見る(ブランコをつけました)



南側を見る(左奥に薪ストーブです)



北側を見る(6人が食事ができます)



キッチン(一通り料理ができます)



2階の部屋(8人が泊れ合宿ができます)